

## 公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEGON Kids 長柄		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 25日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 25日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 25日		2026年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4か所	(回答数) 4か所
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本来は助言説明をするべきものであるが知識や経験もある教員が滞在する学校へ訪問する場合は先方を尊重し先方の要望に合わせた書類作りなども行っている。	児童を担当する教員の方も誇りをもって職務に従事されていると思っております。 その為ごちからの一方的な助言などではなく一緒におひとりおひとりに合わせた支援を行っています。	要望があればこちらから助言する機会を増やし、どんなふう に活かしていただけたのかをお伺いしていければと思っ ています。
2	保育所等訪問支援のみではなく放デイ・児発も利用されている事が主な為保護者様のニーズを汲み取りやすい。	送迎の際など都度変化するニーズをお伺いし訪問に活かしてい ます。	より細かなニーズに対応できるようにお話をこまめにお伺い していきます。
3	訪問支援を受けて得た課題をもとに日々の支援を改善、工夫する事が出来る。	訪問支援で得た課題を放デイなどの日々の活動の中で活かして います。	課題をより細分化し日々の支援に活かせるように努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校のピークタイムと放デイのピークタイムが交差しているためなかなか連絡が取りづらい。	児童が来所している環境では児童の支援に時間が割かれ、連絡 をするタイミングがなかなか取れないことが多い。	ピークタイムの児童への支援の調整を行い一時的にでもタイ ミングを作れるように努めます。
2	様子や取組等を共有する時間を確保することが難しい。その為か仕組みの理解もされづらい。	訪問先としては保育所等訪問支援を受け入れる環境が当たり前 ではなく、イレギュラーに対応してくださっている環境であり 色々調整をいただいている中でお互いの時間のすり合わせが なかなか難しい部分を感じます。	事業所としても時間を作れるように工夫しより共有できる時 間を確保できるように努めます。
3	児童の学校でのありのままの姿を見学しに行っているが、知っている職員のため児童が見られているという意識が強く、普段の様子を実際には見づらい部分がある。	普段の事業所内での関わりがある為	一定の距離を保って観察を行う。